順位	氏名（議席）	発言の要旨
7	小池 義治（15）	<p>1. スポーツ行政が市民部と産業交流部にまたがっていることについて</p> <p>本市のスポーツ行政は、総合体育館北里アリーナ富士などの体育施設、スポーツ推進委員やスポーツ推進審議会については市民部文化スポーツ課が担当しているが、ふじかわキウイマラソンや富士山サイクルロードレースのようなスポーツイベント、スポーツコミッションについては産業交流部交流観光課が担当しているなど、区分けが分かりにくく感じる。富士市議会においては、市民部の事業は総務市民委員会、産業交流部の事業は産業教育委員会がそれぞれ所管しているため、令和7年6月定例会における大規模スポーツイベント等開催支援事業に関する議案審査においては、一体的な議論がしにくい場面が見られた。これらを踏まえ、以下質問する。</p> <p>(1) スポーツ行政に関し、市民部文化スポーツ課スポーツ担当と産業交流部交流観光課交流推進室は、どのような観点で業務を分担しているのか。</p> <p>(2) スポーツ関連施設の管理やスポーツイベントの実施などスポーツ行政全般について、一体的に所管する部署を設置することはできないか。</p> <p>2. 市有施設を活用した社会人向けリカレント教育環境の整備について</p> <p>「リカレント (recurrent)」とは「循環する」という意味であり、リカレント教育とは、学校教育を終えて社会に出た後も、必要なタイミングで学び直しを行い、仕事と学びを繰り返していく仕組みを指す。人口減少、技術革新、そして人生100年時代といった社会環境の変化の中で、社会人がキャリアの途中で学び直すことは、人材確保、地域経済の活性化、さらにはシニア世代の生きがい形成に直結する重要な取組と考える。</p> <p>他市の事例としては、三島市がリカレント教育推進事業の一環として特設サイトを設置し、フリーWi-Fi環境が整備された市民生涯学習センターの一部を夜間学習スペースとして無料で開放することで、資格取得を目指す社会人を支援している。</p> <p>生涯青春都市を掲げる本市においても、生涯を通じた学び直しの環境を整備することが必要であると考え、以下質問する。</p> <p>(1) 社会人に向けて、市有施設（例えば交流プラザや教育プラザ等）の一部を、夜間や休日に、フリーWi-Fi付の学習スペースとして開放できないか。</p> <p>(2) リカレント教育という切り口で、本市で行われている市民大学やまちづくりセンター講座、商工会議所・商工会等で実施されている人材育成講座などの情報を整理し、体系的にPRできないか。</p> <p>3. 市立図書館における時間制限のないフリーWi-Fiの整備について</p> <p>現在、本市の市立図書館の大半にはフリーWi-Fiが整備されておらず、中央図書館においても利用は1時間以内に制限されている。インターネットを使った情報収集や学習は、現代社会における基本的なインフラであり、図書館での調べ物においても、書籍に加えてインターネットや生成AIの情報を併用することはごく一般的となっている。</p> <p>全国的にも、多くの公共図書館において時間制限のないフリーWi-Fiが整備され、標準的なサービスとなりつつある。デジタル変革宣言を掲げる本市においても、全ての市立図書館で誰もが自由に、無制限で使えるフリーWi-Fiを整備する必要があると考え、以下質問する。</p> <p>(1) 中央図書館のフリーWi-Fiを1時間以内に利用制限している理由は何か。</p>

順位	氏名（議席）	発 言 の 要 旨
7	小池 義治（15）	(2) 市内の全ての図書館において時間制限のないフリーWi-Fiを整備してはどうか。